

このコーナーでは安来市のDXの取り組みを紹介します。
 DXとは、デジタルトランスフォーメーションの略で、デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革することです。

スマホやパソコンで公共施設などの予約ができます

●予約できるもの（令和5年9月末時点）

【施設】

- ◎十神山なぎさ公園 ◎中海ふれあい公園
- ◎伯太保健センター

【相談・健（検）診等】

- ◎がん検診、特定健診 ◎消費生活相談
- ◎国民年金相談（障害年金）
- ◎安来市立病院の「脳MRI検査、胸部CT検査、日曜日がん検診」
- ◎マイナンバー休日窓口

●予約方法

予約サイトにアクセスして必要事項を入力してください。



【サイト名】

- ◎安来市公共施設等予約サイト
- ◎安来市相談・健（検）診等予約サイト
- 市ホームページ（右2次元コード）から予約サイトを見ることができます。



●その他

予約サイトは、利用規約を確認いただき同意の上、ご利用ください。

予約サイトの利用には会員登録が必要です。



十神山なぎさ公園

問い合わせ 自治体DX推進室 ☎23-3121



▲中国の白磁。

8月下旬のことでした。小学2年生の女の子が、夏休みの自由研究「月山富田城のひみつ」が完成したと、持って来てくれました。模造紙2枚にまとめられ、月山富田城跡からの出土品である中国の白磁やタイの陶器が丁寧に描かれていました。2階の展示コーナーで、時間をかけてスケッチしたことが想像できました。

なぜ、月山富田城跡から中国の白磁やタイの陶器が、と思われる

安来市立歴史資料館の展示品を通して安来市の歴史を紹介する、このシリーズ。第7回は、戦国時代のお話です。

歴史資料館資料
 連載の知っておきたい
安来市の歴史

ことでしょうか。実は戦国時代、日本海を沢山の船が行き来していました。東南アジアや中国、朝鮮からの品物が、博多に入り日本海沿岸の港を経由して若狭の国（福井県）小浜へ、そして京へというルートが確立されていたからです。月山富田城跡から出土する中国の白磁や青磁、タイの陶器などは、多くの船が安来の港に出入りしていたことを教えてくれています。

戦国大名尼子氏は、美保関を通る船から公用銭という税金を取っていました。また、鉄の積出港である安来や宇龍等日本海沿岸の港を支配下に置きました。このように、尼子氏が日本海交易を手に入れたことは、後に尼子氏が支配領域を拡大するための大きな経済的な基盤となっていました。

月山富田城跡から、遠く中海や島根半島を見ると、多くの船が出入りしていたことが想像できます。

問い合わせ
 歴史資料館 ☎32・2767



▲タイの陶器。

